

評価報告を受けて

昨年度（令和元（2019）年度）より鈴木田光孝校長を迎えて、本校は新しい体制で日々の教育活動を行っております。校長のリーダーシップの下、とくに、日々の授業や進路指導などで教職員の動きに変化が出ています。今後の成果に期待します。

生徒・職員・保護者の自己評価では、いくつかの項目で認識のずれが生じています。このことについては、現状を直視して改善に努めてまいります。

今年度は、新型コロナウイルス感染症の拡大防止、国の緊急事態宣言等で、長期の休校を余儀なくされました。従来の教育活動が展開できなかったこと、生徒たちの輝ける活動が奪われたことは大変遺憾ではありますが、生徒・教職員が一丸となって、前を向いている姿には頼もしさを感じます。

4年後の創立100周年に向けて、玉名女子高等学校はさらなる飛躍をお約束します。

令和2年6月30日

学校法人 玉名白梅学園

理事長 森塚 利徳